

# I 学校調査

## 1 小学校

### (1) 学校数 (表1, 図1)

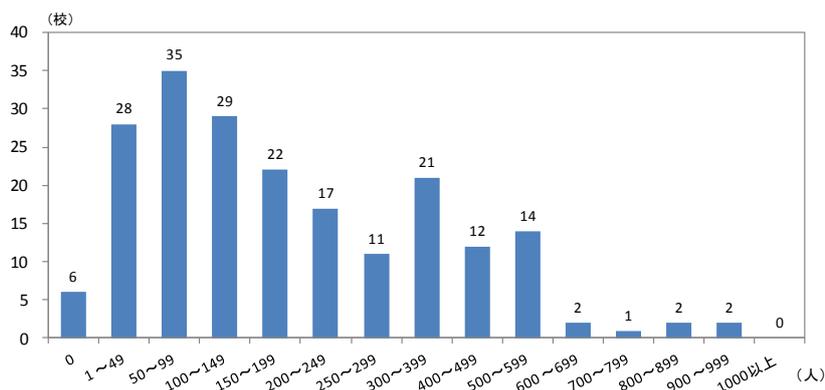
学校数は202校(本校200校、分校2校)で、前年度より4校減少した。国立1校、公立200校、私立1校である。

規模別にみると、児童数「50～99人」の学校が35校(構成比17.3%)と最も多く、次いで「100～149人」の学校が29校(構成比14.3%)、「1～49人」の学校が28校(構成比13.9%)となっている。

表1 小学校の学校数および学級数

区分	学校数		学級数				特別支援学級の占める割合
	本校	分校	単式学級	複式学級	特別支援学級	%	
平成23年度	209	2	1,991	1,736	85	170	8.5
平成24年度	207	2	1,986	1,736	79	171	8.6
平成25年度	207	2	1,990	1,733	75	182	9.1
平成26年度	206	2	1,994	1,728	75	191	9.6
平成27年度	202	2	1,979	1,710	65	204	10.3

図1 小学校の児童数別学校数

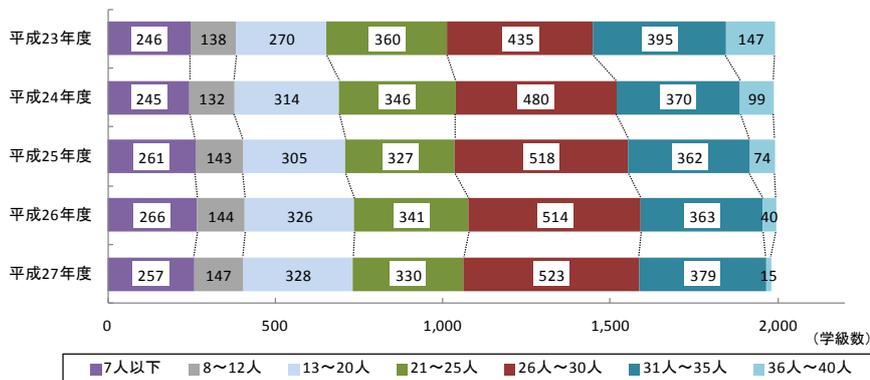


### (2) 学級数 (表1, 図2)

学級数は1,979学級で、前年度より15学級減少している。

収容人員別にみると、「26～30人学級」が523学級で最も多く、次いで「31～35人学級」が379学級、「21～25人学級」が330学級となっている。

図2 小学校の収容人員別学級数の推移



### (3) 児童数 (表 2, 図 3, 図 4)

児童数は 43,298 人 (男 22,179 人、女 21,119 人) で、前年度より 477 人減少している。昭和 58 年度以降連続して減少しており、調査を開始した昭和 23 年以降最少である。

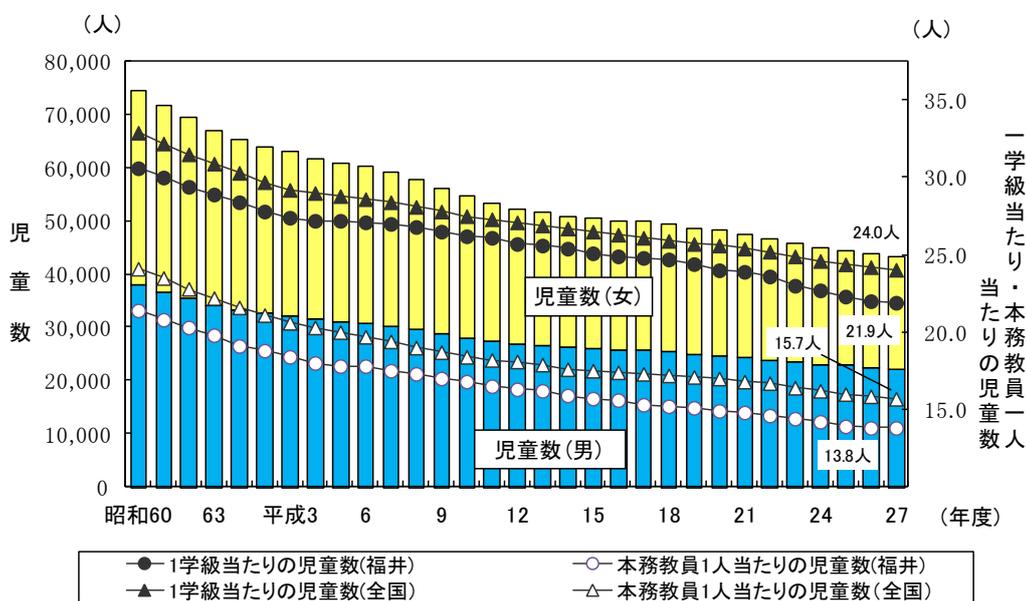
1 学級当たりの児童数は 21.9 人で、全国の 24.0 人を下回っている。

本務教員 1 人当たりの児童数は、13.8 人で、全国の 15.7 人を下回っている。

表 2 小学校の児童数

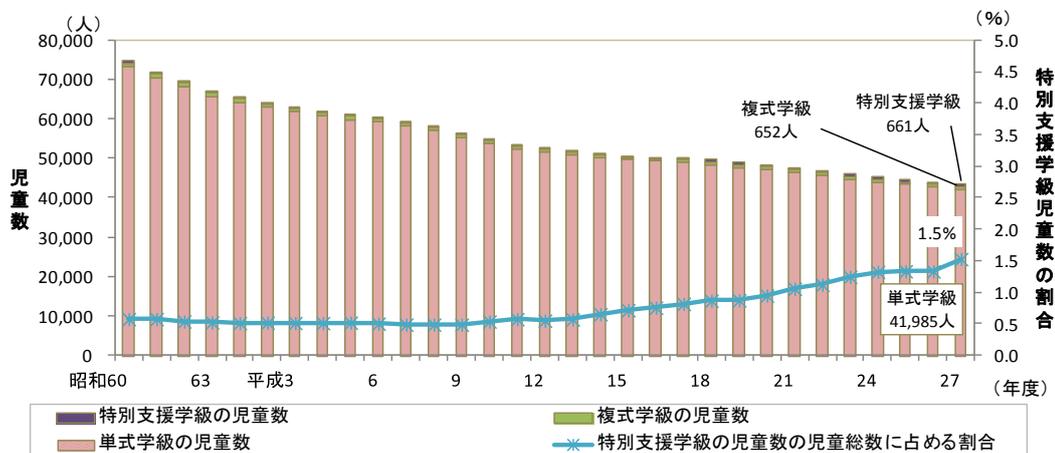
区分	児童数			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	1 学級当たりの児童数	本務教員 1 人当たりの児童数
	人	男	女								
平成23年度	45,879	23,452	22,427	7,290	7,356	7,613	7,876	7,789	7,955	23.0	14.4
平成24年度	45,023	23,033	21,990	7,132	7,282	7,353	7,611	7,860	7,785	22.7	14.2
平成25年度	44,457	22,828	21,629	7,267	7,137	7,267	7,341	7,600	7,845	22.3	13.9
平成26年度	43,775	22,458	21,317	7,200	7,256	7,109	7,260	7,334	7,616	22.0	13.8
平成27年度	43,298	22,179	21,119	7,138	7,211	7,237	7,113	7,268	7,331	21.9	13.8

図 3 小学校の児童数および1学級当たり・本務教員 1 人当たりの児童数の推移



学級編成方式別にみると、単式学級の児童数は 41,985 人で前年度より 514 人減少、複式学級の児童数は 652 人で 41 人減少、特別支援学級の児童数は 661 人で 78 人増加している。児童数が逡減している中、特別支援学級の児童数の児童総数に占める割合は、平成 27 年度は 1.5% であり、昭和 60 年以降の推移をみると最も割合が小さい平成 3 年度と比べて 1.0 ポイント上昇している。

図 4 学級編成方式別の小学校の児童数および特別支援学級児童数の割合の推移



(4)教員数 (表 3, 図 5)

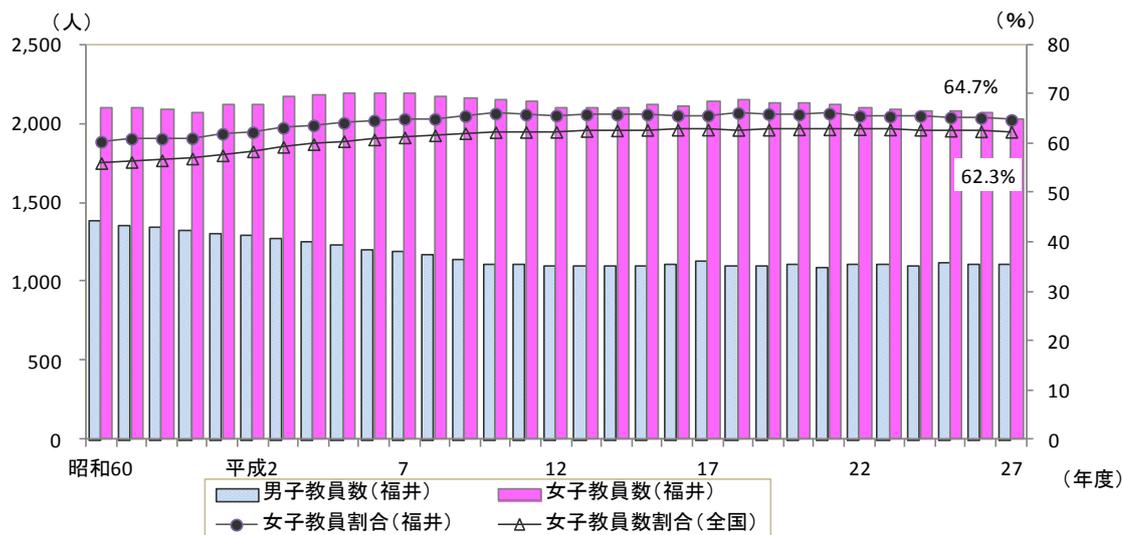
教員数(本務者)は 3,130 人(男 1,105 人、女 2,025 人)で、前年度より 39 人減少している。

女子教員の本務教員に占める割合は 64.7%で、前年度より 0.4 ポイント低下しているが、全国と比べて 2.4 ポイント高い。

表 3 小学校の教員数(本務者)

区 分	教員数			本務教員に占める女子教員の割合
		男	女	
	人	人	人	%
平成23年度	3,186	1,102	2,084	65.4
平成24年度	3,181	1,099	2,082	65.5
平成25年度	3,190	1,111	2,079	65.2
平成26年度	3,169	1,105	2,064	65.1
平成27年度	3,130	1,105	2,025	64.7

図5 小学校の男女別本務教員数および本務教員に占める女子教員の割合の推移



(5)理由別長期欠席(30日以上欠席)児童数(表 4, 図 6)

平成 26 年度内に連続または断続して 30 日以上欠席した児童数は 252 人で、前年度より 20 人減少している。

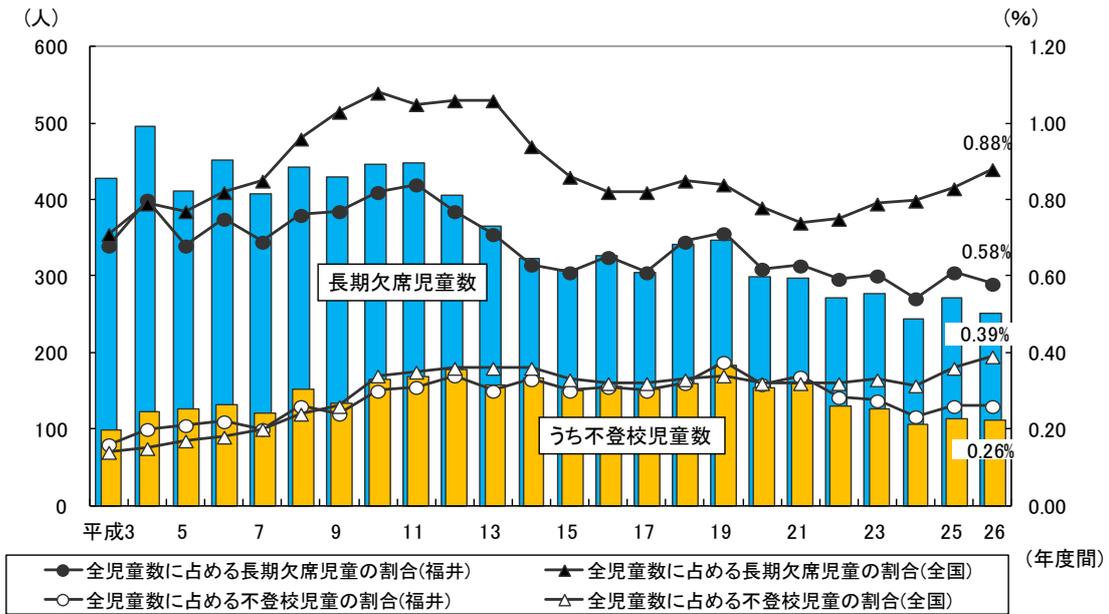
このうち、不登校を理由とする児童は 112 人で、全児童数に占める割合は 0.26%であり、全国平均の 0.39%に比べ、本県が 0.13 ポイント低くなっている。

表 4 理由別長期欠席(30日以上欠席)児童数の推移

区 分	計	欠席理由				長期欠席児童の全児童数に占める割合		不登校児童の全児童数に占める割合	
		病気	経済的理由	不登校	その他	福井県	全国	福井県	全国
平成22年度	272	70	0	130	72	0.58	0.75	0.28	0.32
平成23年度	276	88	1	126	61	0.60	0.79	0.27	0.33
平成24年度	244	64	0	105	75	0.54	0.80	0.23	0.31
平成25年度	272	77	0	114	81	0.61	0.83	0.26	0.36
平成26年度	252	61	0	112	79	0.58	0.88	0.26	0.39

※長期欠席者数内訳の「その他」とは、「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由で長期欠席した者および欠席理由が2つ以上あり、主たる理由が特定できない者の人数である。

図6 小学校の長期欠席児童数とその割合の推移



## 2 中学校

### (1) 学校数 (表 5, 図 7)

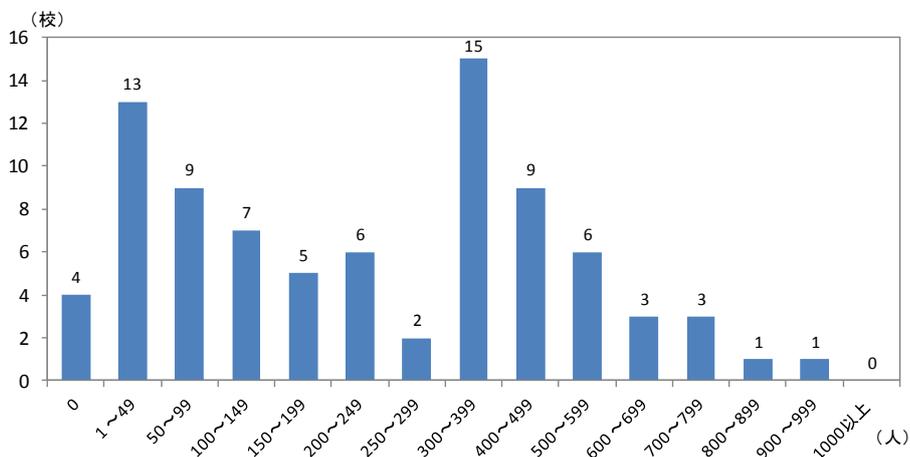
学校数は84校(本校81校、分校3校)で、前年度より1校減少した。国立1校、公立79校、私立4校である。また、中高一貫教育を実施している学校は13校(公立11校、私立2校)である。

規模別にみると、生徒数「300～399人」の学校が15校(構成比17.9%)と最も多く、次いで「1～49人」の学校が13校(構成比15.5%)、「50～99人」および「400～499人」の学校が9校(構成比10.7%)となっている。

表5 中学校の学校数および学級数

区分	学校数			学級数			特別支援学級の占める割合 %
	校	本校	分校	学級	単式学級	特別支援学級	
平成23年度	85	80	5	963	886	77	8.0
平成24年度	85	80	5	953	869	84	8.8
平成25年度	85	80	5	948	860	88	9.3
平成26年度	85	81	4	942	849	93	9.9
平成27年度	84	81	3	927	831	96	10.4

図7 中学校の生徒数別学校数

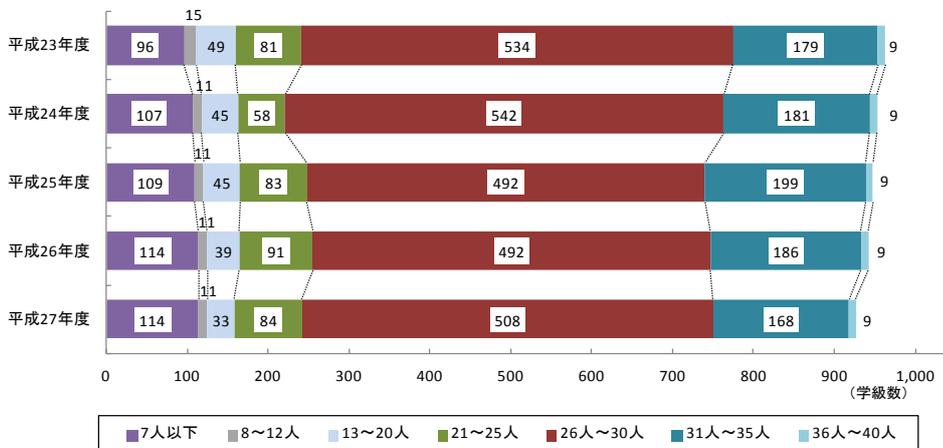


(2) 学級数 (表 5, 図 8)

学級数は 927 学級で、前年度より 15 学級減少している。

収容人員別にみると、「26～30 人学級」が 508 学級で最も多く、次いで「31～35 人学級」が 168 学級、「7 人以下学級」が 114 学級となっている。

図8 中学校の収容人員別学級数の推移



(3) 生徒数 (表 6, 図 9, 図 10)

生徒数は 23,136 人 (男 11,783 人、女 11,353 人) で、前年度より 328 人減少しており、調査を開始した昭和 23 年以降最少である。

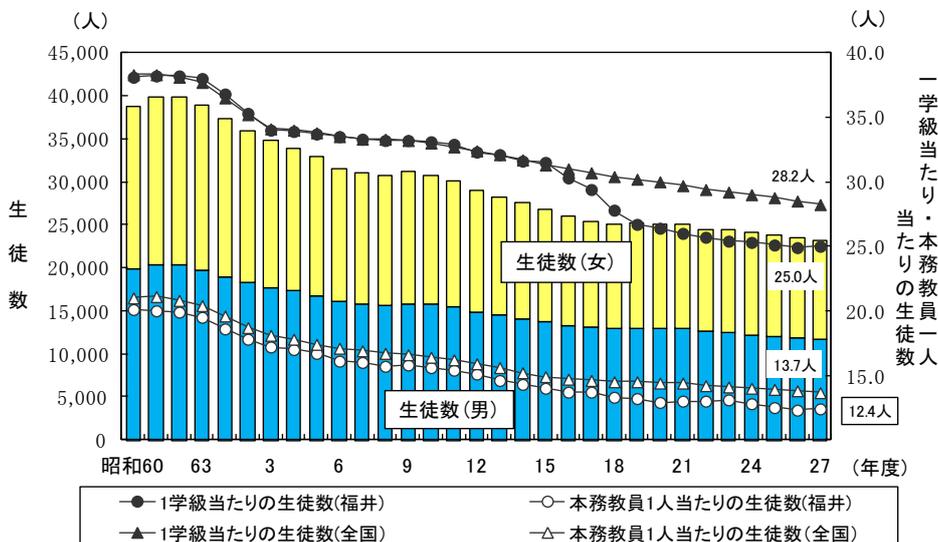
1 学級当たりの児童数は 25.0 人で、全国の 28.2 人を下回っている。

本務教員 1 人当たりの児童数は、12.4 人で、全国の 13.7 人を下回っている。

表 6 学年別生徒数

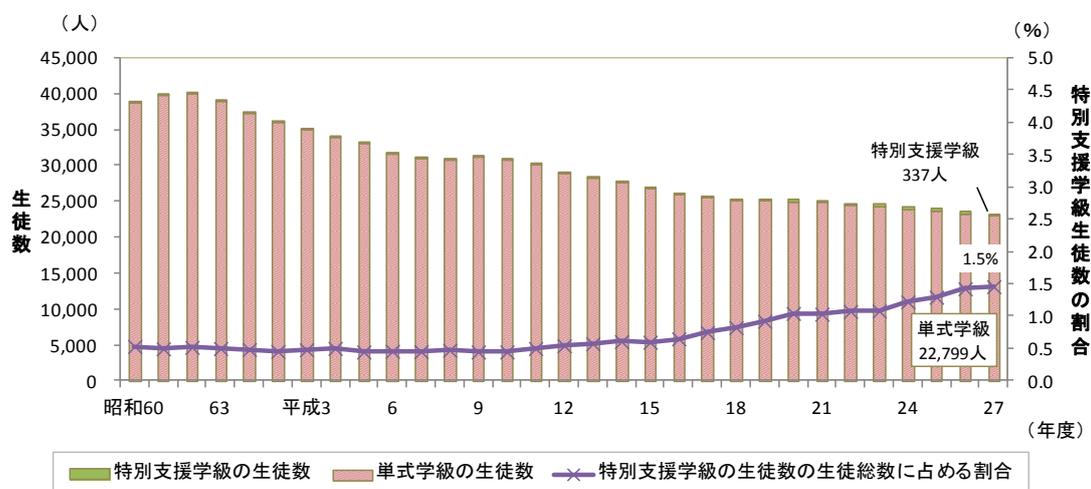
区分	生徒数		1 学年	2 学年	3 学年	1 学級 当たりの 生徒数	本務教員 1 人当たりの 生徒数	
	男	女						
平成23年度	24,448	12,476	11,972	8,183	7,992	8,273	25.4	13.1
平成24年度	24,086	12,232	11,854	7,931	8,169	7,986	25.3	12.8
平成25年度	23,816	12,049	11,767	7,743	7,913	8,160	25.1	12.5
平成26年度	23,464	11,909	11,555	7,812	7,745	7,907	24.9	12.3
平成27年度	23,136	11,783	11,353	7,591	7,808	7,737	25.0	12.4

図9 中学校の生徒数および1学級当たり・本務教員1人当たりの生徒数の推移



学級編成方式別にみると、単式学級の児童数は22,799人で前年度より331人減少する一方、特別支援学級の児童は337人で3人増加している。特別支援学級の生徒数の生徒総数に占める割合は、平成27年度は1.5%であり、昭和60年以降からの推移をみると最も割合が小さい平成10年度と比べて1.0ポイント上昇している。

図10 学級編成方式別の中学校の生徒数および特別支援学級生徒数の割合の推移



(4) 教員数 (表7, 図11)

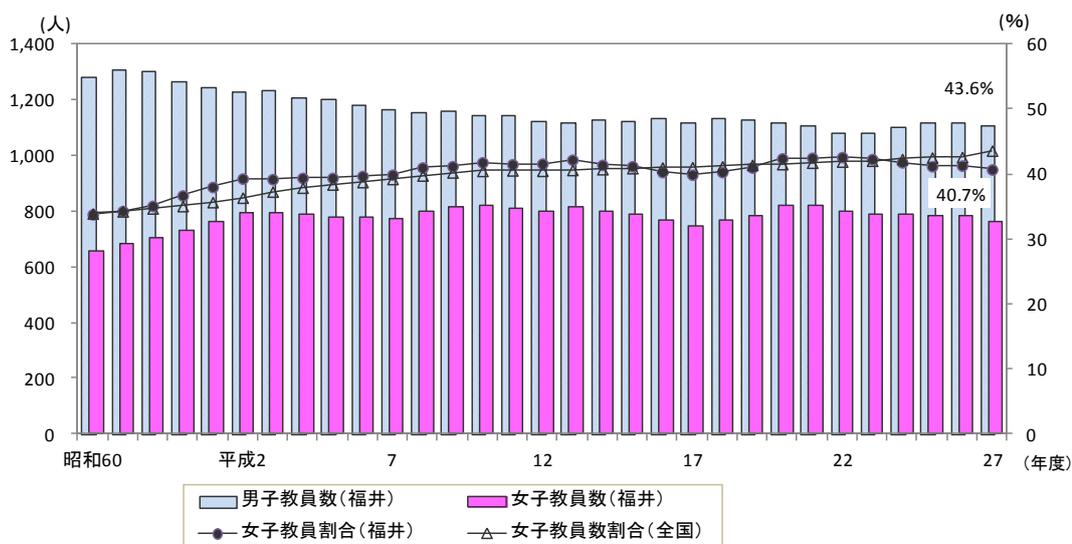
教員数(本務者)は1,868人(男1,107人、女761人)で、前年度より32人減少している。

女子教員の本務教員に占める割合は40.7%で、前年度より0.6ポイント減少しているが、全国と比べて2.1ポイント低い。

表7 中学校の教員数(本務者)

区分	教員数			本務教員に占める女子教員の割合 %
	人	男 人	女 人	
平成23年度	1,871	1,080	791	42.3
平成24年度	1,889	1,099	790	41.8
平成25年度	1,903	1,119	784	41.2
平成26年度	1,900	1,116	784	41.3
平成27年度	1,868	1,107	761	40.7

図11 中学校の男女別教員数および本教員に占める女子教員の割合の推移



(5)理由別長期欠席（30日以上欠席）生徒数（表8, 図12）

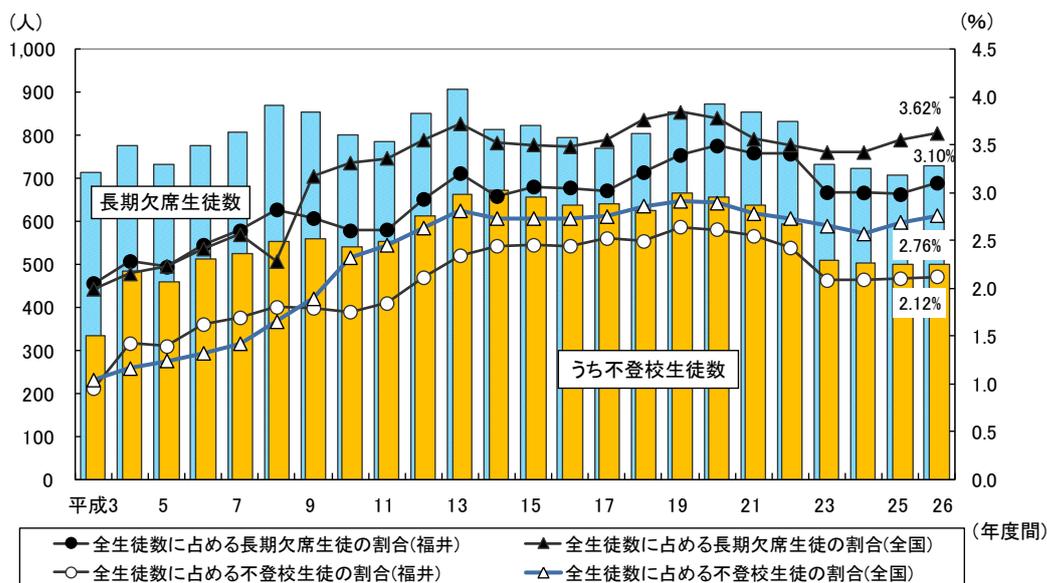
平成26年度内に連続または断続して30日以上欠席した生徒数は728人で、前年度より19人増加している。

このうち、不登校を理由とする生徒は498人で、全生徒数に占める割合は2.12%であり、全国の2.76%に比べ、本県が0.64ポイント低くなっている。

表8 理由別長期欠席（30日以上欠席）生徒数の推移

区 分	計	欠席理由				長期欠席生徒の全生徒数に占める割合		不登校生徒の全生徒数に占める割合	
		病気	経済的理由	不登校	その他	福井県	全国	福井県	全国
平成22年度	832	113	4	592	123	3.40	3.50	2.42	2.73
平成23年度	734	132	0	508	94	3.00	3.42	2.08	2.65
平成24年度	722	94	2	503	123	3.00	3.42	2.09	2.57
平成25年度	709	99	1	501	108	2.98	3.55	2.10	2.69
平成26年度	728	102	0	498	128	3.10	3.62	2.12	2.76

図12 中学校の長期欠席生徒数とその割合の推移



### 3 高等学校

#### [1] 全日制・定時制課程

##### (1) 学校数（表9）

学校数は38校（本校36校、分校2校）で、前年度より1校減少している。公立31校、私立7校である。課程別でみると、全日制課程のみが30校、定時制課程のみが3校、併置校（全日制・定時制の両課程を置く学校）が5校である。

学科別でみると、単独校21校（普通科11校、農業科2校、工業科4校、商業科2校、総合学科2校）であり、総合校17校（普通科と職業科1学科が12校、普通科と職業科2学科以上が2校、職業科のみ2学科以上が3校）である。

##### (2) 生徒数（表9, 表10, 図13, 図14）

生徒数は23,026人（男11,570人、女11,456人）で、前年度より210人減少している。

表9 高等学校の学校数および生徒数

区分	学校数	生徒数								専攻科	1校当たりの生徒数	本務教員1人当たりの生徒数
		計	男女		本科							
			男	女	1学年	2学年	3学年	4学年				
平成23年度	40	23,751	12,121	11,630	7,928	8,055	7,613	92	63	593.8	13.0	
平成24年度	40	23,748	12,140	11,608	7,966	7,738	7,863	117	64	593.7	12.9	
平成25年度	38	23,229	11,828	11,401	7,726	7,769	7,555	110	69	611.3	13.3	
平成26年度	39	23,235	11,716	11,519	7,940	7,538	7,592	89	76	595.8	13.2	
平成26年度	38	23,026	11,570	11,456	7,685	7,769	7,407	88	77	605.9	13.5	

図13 高等学校の生徒数および本務教員1人当たりの生徒数の推移

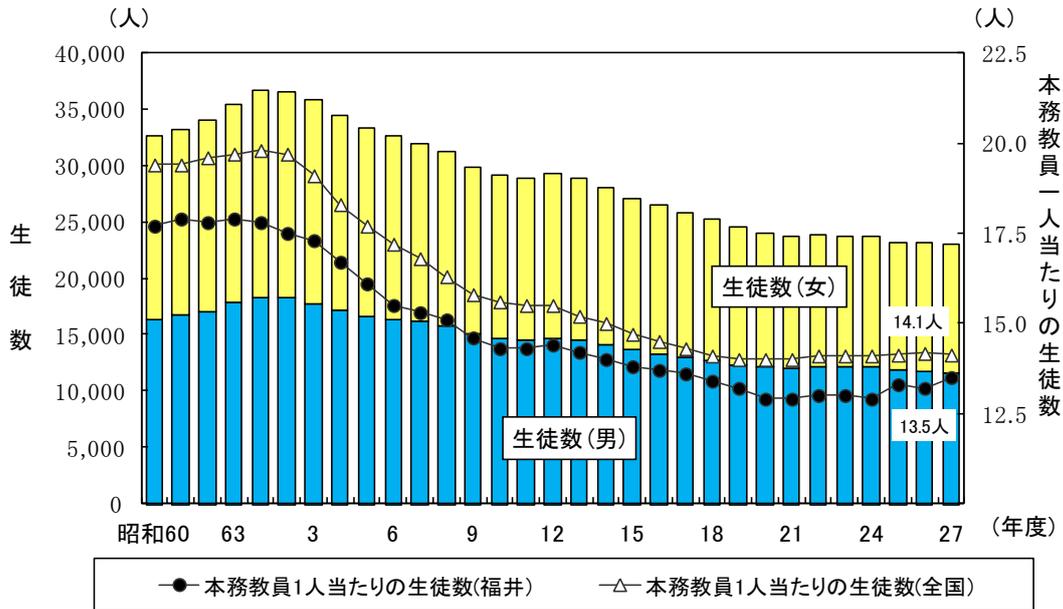
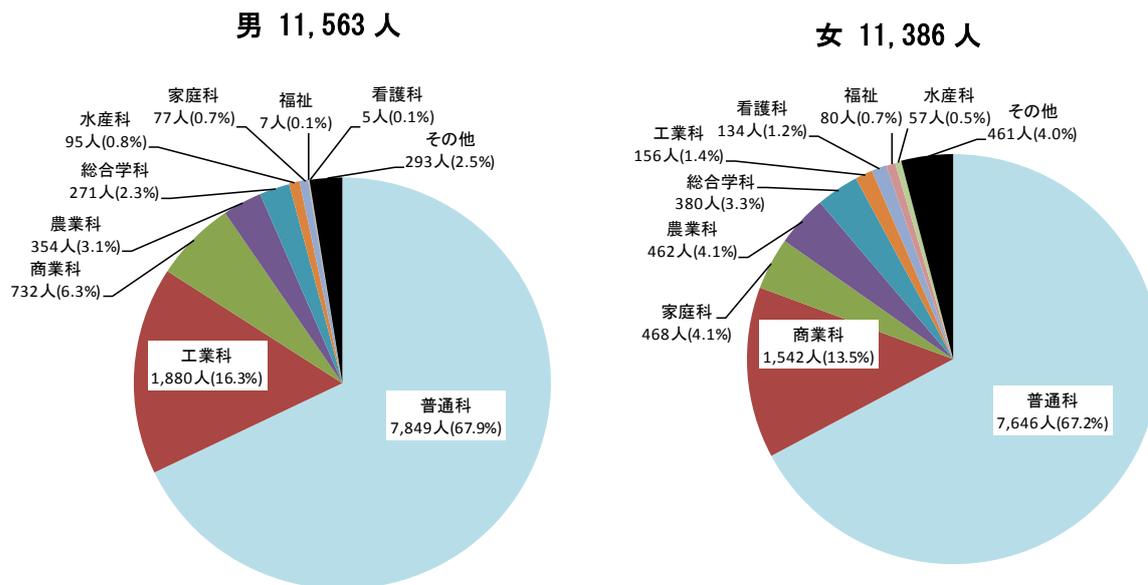


表10 高等学校の学科別生徒数

区分	計	本科										専攻科
		普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	看護科	福祉科	その他	総合学科	
平成23年度	23,751	14,479	876	2,240	2,643	205	727	128	46	1,540	804	63
平成24年度	23,748	14,217	860	2,152	2,605	228	737	129	61	1,908	787	64
平成25年度	23,229	15,196	839	2,089	2,468	191	646	142	90	754	745	69
平成26年度	23,235	15,420	821	2,064	2,388	173	595	144	87	769	698	76
平成27年度	23,026	15,495	816	2,036	2,274	152	545	139	87	754	651	77

(注) 本科のうち「その他」には、理数関係、音楽・美術関係の学科が含まれる。

図14 高等学校の男女別学科別生徒数(本科)



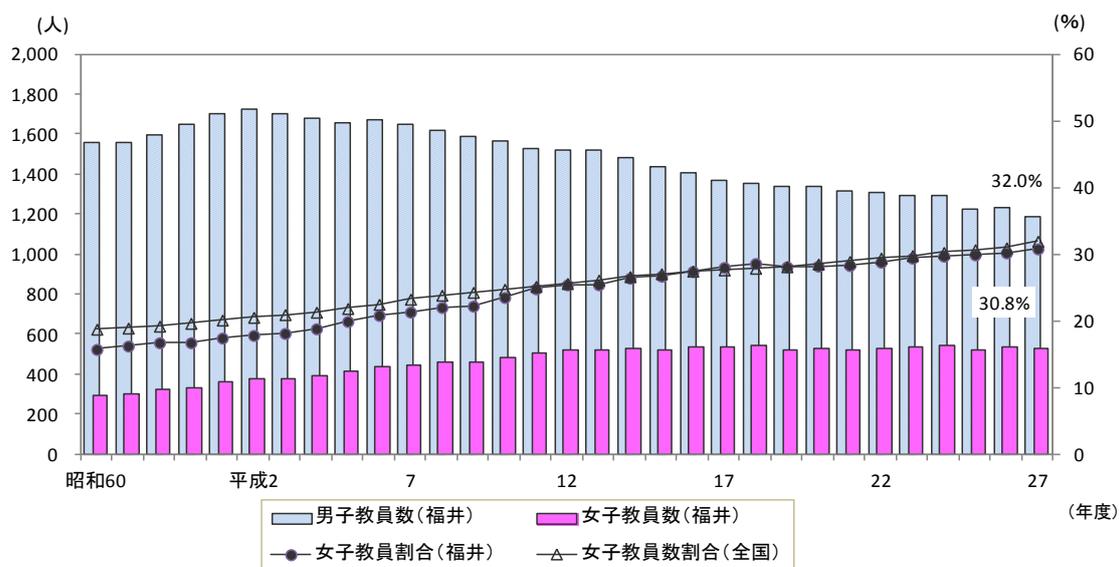
(3) 教員数 (表11, 図15)

教員数(本務者)は1,711人(男1,184人、女527人)で、前年度より51人減少している。  
 女子教員の本務教員に占める割合は30.8%で、前年度より0.6ポイント上昇しているが、全国と比べて0.5ポイント低い。

表11 高等学校の教員数(本務者)

区分	教員数	本務教員に占める女子教員の割合		
		男	女	
	人	人	人	%
平成23年度	1,829	1,292	537	29.4
平成24年度	1,838	1,293	545	29.7
平成25年度	1,748	1,226	522	29.9
平成26年度	1,762	1,230	532	30.2
平成27年度	1,711	1,184	527	30.8

図15 高等学校の男女別教員数および本教員に占める女子教員の割合の推移



## [ 2 ] 通信制課程

### (1) 学校数 (表 12)

学校数は 2 校で、前年度と変わらない。

表 12 高等学校 (通信制課程) の主要指標

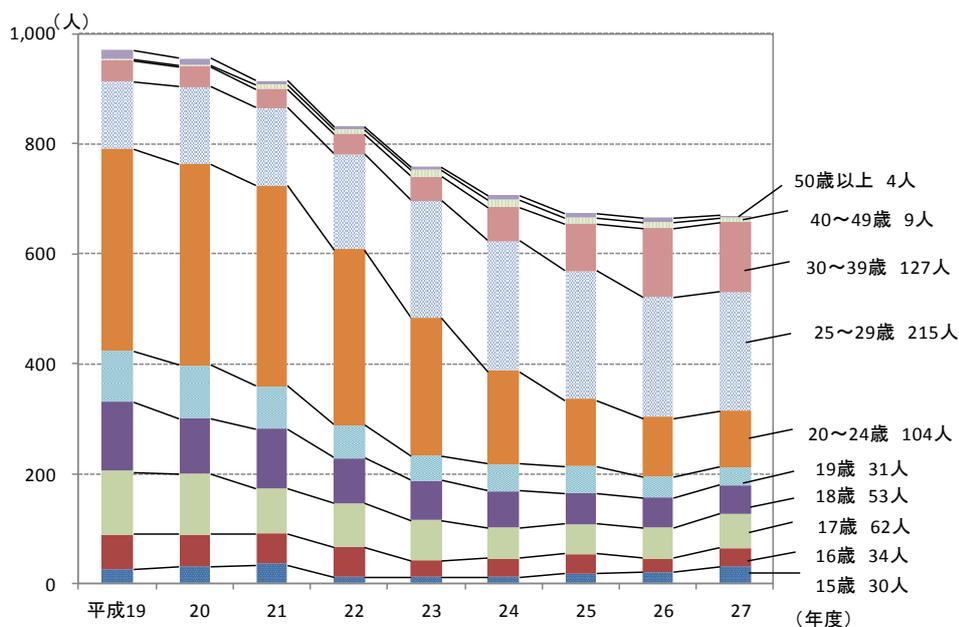
区 分	学校数	生徒数	入学者数		卒業生数 (前年度間)	教員数
			(当該年度)	(前年度間)		
	校	人	人	人	人	人
平成23年度	1	757	63	102	117	19
平成24年度	1	705	74	80	77	17
平成25年度	2	673	90	85	75	17
平成26年度	2	665	54	109	72	16
平成27年度	2	669	57	76	67	17

### (2) 生徒数 (表 12, 図 16)

生徒数は 669 人で、前年度より 4 人増加している。

年齢別では、「25～29 歳」が 215 人 (構成比 32.1%) で最も多く、次いで「15～19 歳」が 210 人 (構成比 31.4%) となっている。

図 16 高等学校 (通信制課程) の生徒数



### (3) 教員数 (表 12)

教員数 (本務者) は 17 人で、前年度より 1 人増加している。

## 4 特別支援学校

### (1) 学校数 (表 13)

学校数は 14 校（国立 1 校、公立 13 校）（本校 12 校、分校 2 校）で、前年度と変わらない。

### (2) 学級数 (表 13)

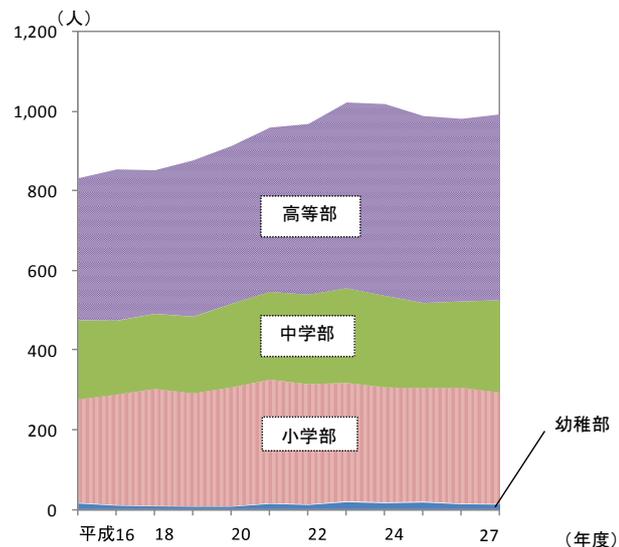
学級数は 307 学級で、前年度より 7 学級増加した。

### (3) 在学者数 (表 13, 図 17)

在学者数は 991 人で、前年度より 11 人増加している。

部別では、幼稚部が 13 人で前年度より 1 人減少、小学部が 282 人で 11 減少、中学部が 230 人で 15 人増加、高等部が 466 人で 8 人増加している。

図 17 部別園児・児童・生徒数(特別支援学校)



※平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計数である

### (4) 教員数 (表 13)

教員数（本務者）は 783 人で、前年度より 4 人増加している。

表 13 特別支援学校の主要指標

区分	学校数	学級数計	在学者数	在学者数				教員数	本務教員 1人当たりの 生徒数
				幼稚部	小学部	中学部	高等部		
平成23年度	13	294	1,021	20	299	236	466	768	1.3
平成24年度	13	297	1,017	17	291	228	481	771	1.3
平成25年度	14	300	987	19	287	212	469	793	1.2
平成26年度	14	300	980	14	293	215	458	779	1.3
平成27年度	14	307	991	13	282	230	466	783	1.3

## 5 幼稚園

### (1) 幼稚園数 (表 14)

幼稚園数は 13 市町に 96 園 (本園 95 園、分園 1 園) が設置されており、前年度より 26 園減少している。

### (2) 学級数 (表 14)

学級数は 256 学級 (国立 6 学級、公立 124 学級、私立 126 学級) で、前年度より 94 学級減少している。

### (3) 園児数 (表 14, 図 18)

園児数は 3,337 人 (国立 102 人、公立 1,233 人、私立 2,002 人) で、前年度より 1431 人減少している。  
入園者数は 980 人で、前年度より 556 人減少している。

### (4) 教員数 (表 14)

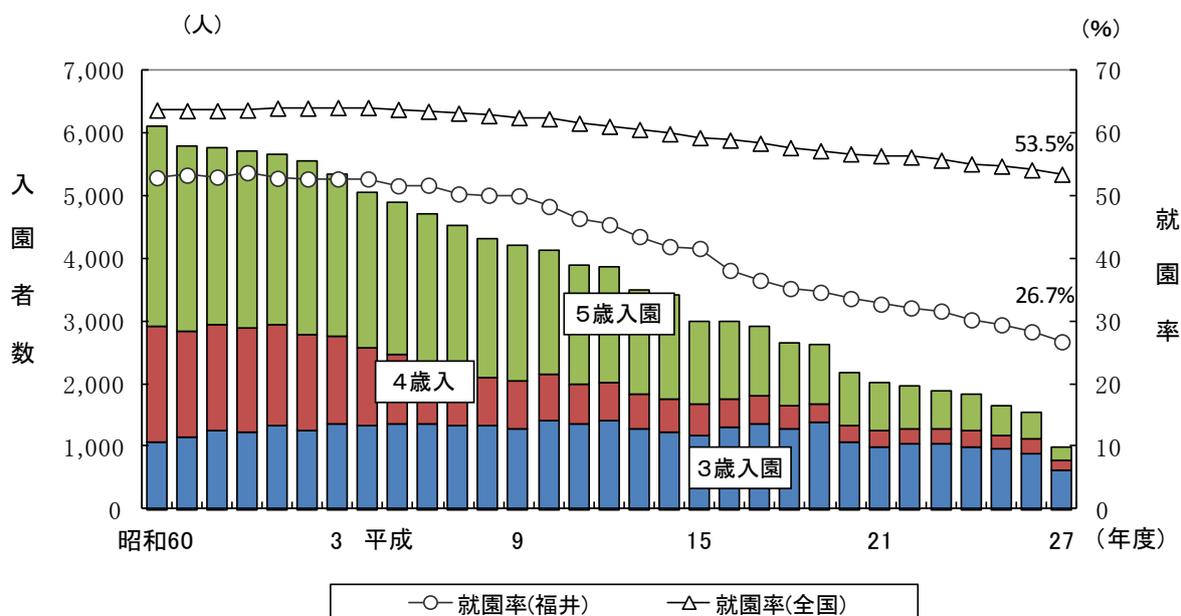
教員数 (本務者) は 393 人 (国立 7 人、公立 148 人、私立 238 人) で、前年度より 103 人減少している。  
本務教員 1 人当たりの園児数は、8.5 人である。

表 14 幼稚園の主要指標

区 分	幼稚園数	学級数	園児数	教員数	本務教員 1人当たりの 園児数	入園者数	修了者数 (前年度)	小学校 第1学年 児童数	就園率
	園	学級	人	人	人	人	人	人	%
平成23年度	125	347	5,259	494	10.6	1,881	2,305	7,290	31.6
平成24年度	125	347	5,242	486	10.8	1,825	2,155	7,132	30.2
平成25年度	125	341	5,016	494	10.2	1,641	2,137	7,267	29.4
平成26年度	122	350	4,768	496	9.6	1,536	2,041	7,200	28.3
平成27年度	96	256	3,337	393	8.5	980	1,909	7,138	26.7

- (注) 1 「就園率」とは、小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率をいう。  
2 3歳未満児については、平成20年度から調査の対象外としている。

図 18 幼稚園の年齢別入園者数および就園率の推移



## 6 幼保連携型認定こども園

### (1) 学校数 (表 15)

幼保連携型認定こども園数は 40 園 (公立 11 園、私立 29 園) である。

表 15 幼保連携型認定こども園の設置者別園数

区分	計	国立	公立	私立
	園	学級	人	人
平成26年度	…	…	…	…
平成27年度	40	-	11	29

### (2) 学級数 (表 16)

学級数は 148 学級である。

### (3) 園児数 (表 16)

園児数は 4,237 人 (男子 2,170 人、女子 2,067 人) であった。園児数を年齢別にみると、0～2 歳児 1,243 人 (全園児数 29.3%)、3 歳児 984 人 (同 23.2%)、4 歳児 964 人 (同 22.8%)、5 歳児 1,046 人 (同 24.7%) である。一学級当たりの園児数 (3～5 歳) は、20.4 人であった。本務教育・保育職員一人当たり園児数は 6.8 人であった。

表 16 幼保連携型認定こども園の学級数および年齢別園児数

区分	学級数	園児数						
		計	男	女	0～2 歳	比率	3 歳	比率
	学級	人	人	人	人	%	人	%
平成26年度	…	…	…	…	…	…	…	…
平成27年度	148	4,237	2,170	2,067	1,243	29.3	984	23.2

つづき

区分					一学級あたり 園児数 (3～5 歳児)	本務教育・保育職員 一人当たり園児数 (0～5 歳)
	4 歳	比率	5 歳	比率	人	人
	人	%	人	%	人	人
平成26年度	…	…	…	…	…	…
平成27年度	964	22.8	1,046	24.7	20.2	6.8

### (4) 教員数 (表 17)

教員数 (本務者) は 625 人 (男性 27 人、女性 598 人) であり、教員数 (本務者) のうち、女性職員の占める比率は 95.7% である。

表 17 幼保連携型認定こども園の教員数

区分	教員数 (本務者)		本務教員に占める女 性教員の比率
	人	うち女性教員 人	
平成26年度	…	…	…
平成27年度	625	598	95.7

## 7 専修学校

### (1) 学校数 (表 18)

学校数は 22 校で、前年度より 1 校増加している。公立 3 校、私立 19 校である。高等課程を置く学校は 3 校、専門課程を置く学校は 19 校である。

### (2) 学科数 (表 18)

学科数は 51 学科で、前年度より 1 学科増加している。内訳は、高等課程 5 学科、専門課程 46 学科である。学科別で最も多いのは「衛生関係」で 13 学科、次いで「商業実務関係」が 12 学科、「医療関係」が 7 学科、「服飾・家政関係」および「文化・教養関係」が 6 学科、「教育・社会福祉関係」が 5 学科、「工業関係」が 2 学科である。

(3)生徒数（表 18, 図 19）

生徒数は 1851 人（公立 273 人、私立 1,578 人）で、前年度より 149 人減少している。

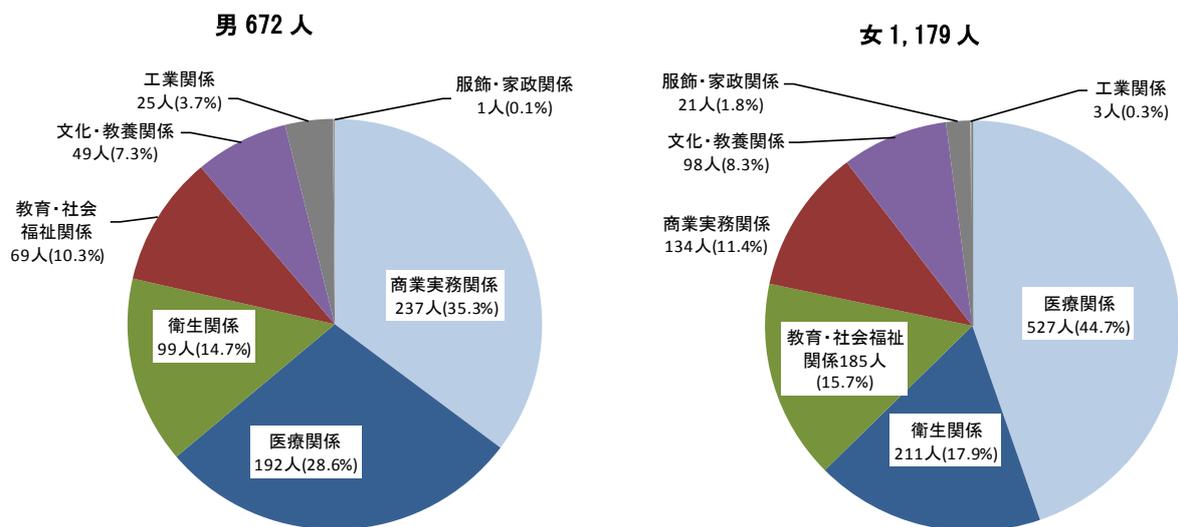
(4)教員数（表 18）

教員数（本務者）は 169 人で、前年度より 8 人減少している。

表 18 専修学校の主要指標

区 分	学 校 数	学 科 数	生 徒 数		教 員 数	卒 業 者 数 (前年度間)
			男	女		
	校	学科	人	人	人	人
平成23年度	22	48	2,039	776	1,263	166
平成24年度	21	49	2,057	765	1,292	174
平成25年度	22	47	2,038	745	1,293	172
平成26年度	21	50	2,000	754	1,246	177
平成27年度	22	51	1,851	672	1,179	169

図 19 専修学校の男女別分野別生徒数



## 8 各種学校

### (1) 学校数 (表 19)

学校数は17校で、前年度より2校減少している。設置者は全て私立である。  
 課程数をみると、「家政関係」が3課程、「その他」が12課程で、総計15課程である。

### (2) 生徒数 (表 19, 図 20)

生徒数は1,935人(男1,218人、女717人)で、前年度より17人減少している。

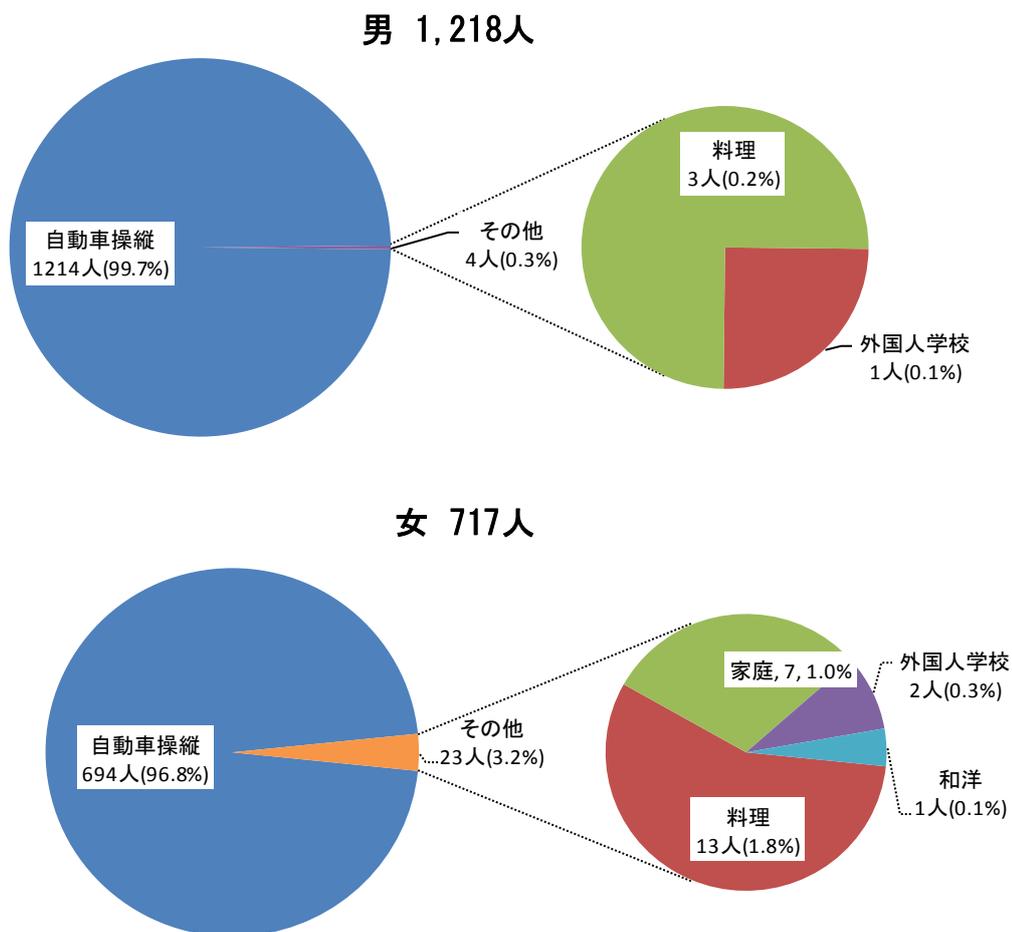
### (3) 教員数 (表 19)

教員数(本務者)は246人で、前年度より14人減少している。

表19 各種学校の主要指標

区 分	学校数	生 徒 数		教員数	卒業者数 (前年度間)	
		男	女			
	校	人	人	人	人	
平成23年度	22	2,210	1,342	868	275	13,170
平成24年度	20	2,142	1,309	833	271	12,825
平成25年度	19	2,050	1,205	845	266	13,051
平成26年度	19	1,952	1,211	741	260	12,993
平成27年度	17	1,935	1,218	717	246	12,782

図 20 各種学校の男女別課程別生徒数



## II 卒業後の状況調査

### 1 中学校卒業生

#### (1) 卒業生数 (表20)

平成26年度の中中学校卒業生は7,906人(男4,038人、女3,868人)で、前年度より250人減少している。

#### (2) 進学状況 (表20, 図21)

高等学校等進学者は7,824人(男3,978人、女3,846人)で、前年度より227人減少している。高等学校等進学率は99.0%(男98.5%、女99.4%)で、前年度より0.3ポイント上昇した。

なお、全国の進学率は98.5%で、本県が0.5ポイント高い(全国13位)。

専修学校(高等課程)進学者は21人(男16人、女5人)、専修学校(一般課程)等入学者は3人(男1人、女2人)、公共職業能力開発施設等入学者は男10人であった。

#### (3) 就職状況 (表20, 図21)

就職者総数(就職者と表20の(A)～(D)のうち就職者の合計)は、20人(男14人、女6人)で、前年度より9人減少している。就職率は0.3%(男0.3%、女0.2%)で、前年度より0.1ポイント減少している。

なお、全国就職率は0.4%で、本県が0.1ポイント低い(全国33位)。

産業別にみると、第一次産業が1人、第二次産業が7人、第三次産業が12人であった。

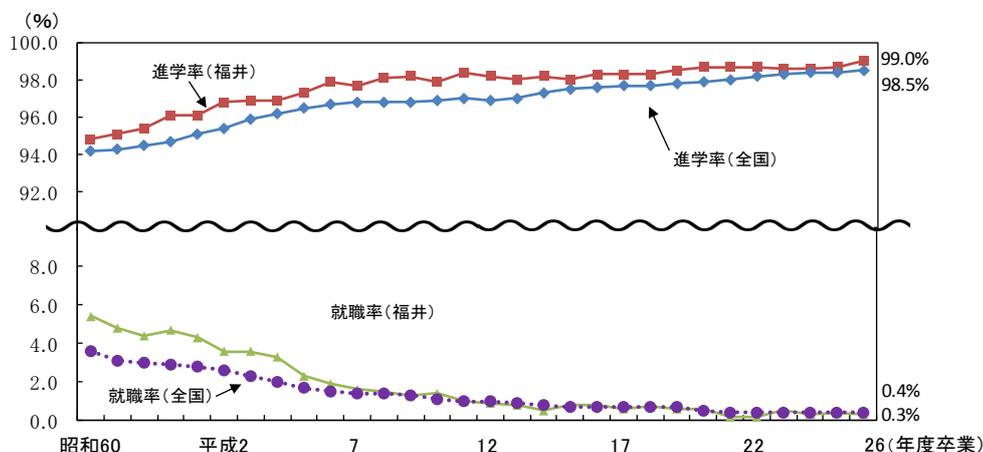
また就職者のうち、県内就職者は19人、県外就職者は1人であった。

表20 中学校の進路別卒業生数

区分	卒業生総数	高等学校等進学者(A)	専修学校(高等課程)進学者(B)	専修学校(一般課程)等入学者(C)	公共職業能力開発施設等入学者(D)	就職者	左記以外の者	死亡・不詳	A・B・C・Dのうち就職者(再掲)	高等学校等進学率	就職率
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%
平成22年度卒業	8,227	8,112	18	9	6	25	55	2	2	98.6	0.3
平成23年度卒業	8,277	8,158	16	1	9	37	56	0	3	98.6	0.5
平成24年度卒業	7,983	7,873	19	1	11	25	54	0	1	98.6	0.3
平成25年度卒業	8,156	8,051	16	1	3	29	56	0	2	98.7	0.4
<b>平成26年度卒業</b>	<b>7,906</b>	<b>7,824</b>	<b>21</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>20</b>	<b>28</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>99.0</b>	<b>0.3</b>

- (注) 1 「高等学校等進学者」とは、高等学校の本科(全日制、定時制および通信制)および別科、中等教育学校後期課程の本科および別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科および別科へ進んだ者である。  
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校一般課程および各種学校へ入学した者である。  
 3 「就職率」とは、卒業生のうち「就職者」および「A・B・C・Dのうち就職者」の占める割合である。

図21 中学校卒業生高等学校等進学率および就職率の推移



## 2 高等学校卒業生

### (1) 卒業生数 (表21)

平成26年度の高等学校卒業生（全日制・定時制）は7,503人（男3,814人、女3,689人）で、前年度より20人増加している。

### (2) 進学状況 (表21, 図22～24)

大学等進学者は4,147人（男2,048人、女2,099人）で、前年度より149人増加している。大学等進学率は55.3%（男53.7%、女56.9%）で、前年度より1.9ポイント上昇している。

なお、全国の進学率は54.5%で、本県が0.8ポイント高い（全国14位）。

専修学校（専門課程）進学者は1,082人（男381人、女701人）、専修学校（一般課程）等入学者は192人（男144人、女48人）、公共職業能力開発施設等入学者は33人（男29人、女4人）である。

### (3) 就職状況 (表21～23, 図23, 図25～図27)

就職者総数（就職者と表21の(A)～(D)のうち就職者の合計）は1,787人（男1,066人、女721人）で、前年度より9人減少している。就職率は、23.8%（男27.9%、女19.5%）で、前年度より0.2ポイント減少している。

なお、全国就職率は17.8%で、本県が6.0ポイント高い（全国16位）。

就職先を県内、県外別でみると、県内就職者は1,576人で88.2%（前年度より0.6ポイント減少）、県外就職者は211人で11.8%（前年度より0.6ポイント増加）である。県外就職者のうち、最も多いのは近畿地方93人（就職者総数の5.2%）、次いで東海地方の31人（同1.7%）、南関東地方および北陸地方が30人（同1.7%）である。

就職者総数を産業別にみると、最も多いのは製造業796人（就職者総数の44.5%）、次いで卸売・小売業193人（同10.8%）、建設業180人（同10.1%）、医療・福祉業119人（同6.7%）である。

また、就職者総数を職業別にみると、最も多いのは生産工程従事者772人（就職者総数の43.2%）、次いでサービス職業従事者259人（同14.5%）、事務従事者178人（同10.0%）である。

表21 高等学校等の進路別卒業生数

区 分	卒業生 総数	大学等 進学者 (A)	専修学校 (専門課 程) 進学 者 (B)	専修学校 (一般課 程) 等入 学者 (C)	公共職業 能力開発 施設等入 学者 (D)	就職者	一時的な 仕事に就 いた者	左記 以外の 者	死亡 ・ 不詳	A・B・C・D のうち 就職者 (再掲)	大学等 進学率	専修学校 (専門課 程) 進学率	就職率
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%	%
平成22年度卒業	7,571	4,236	1,123	241	36	1,661	23	251	0	5	56.0	14.8	22.0
平成23年度卒業	7,506	4,119	1,182	220	32	1,647	34	272	0	1	54.9	15.7	22.0
平成24年度卒業	7,776	4,107	1,189	235	36	1,822	46	340	1	9	52.8	15.3	23.5
平成25年度卒業	7,483	3,998	1,117	255	31	1,792	64	219	7	4	53.4	14.9	24.0
<b>平成26年度卒業</b>	<b>7,503</b>	<b>4,147</b>	<b>1,082</b>	<b>192</b>	<b>33</b>	<b>1,785</b>	<b>48</b>	<b>214</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>55.3</b>	<b>14.4</b>	<b>23.8</b>

- (注) 1 「大学等進学者」とは、大学（学部）、短期大学（本科）、大学・短期大学の通信教育部（正規の課程）、放送大学（全科履修生）、大学・短期大学（別科）、高等学校（専攻科）および特別支援学校高等部（専攻科）への進学者である。
- 2 「専修学校（一般課程）等入学者」とは、専修学校一般課程および各種学校へ入学した者である。
- 3 「一時的な仕事に就いた者」は臨時的な収入を目的とするアルバイトやパート等に就いた者で、平成15年度卒業から調査を開始した。
- 4 「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」および「A・B・C・Dのうち就職者」の占める割合である。

図 22 高等学校の進路別卒業生数の推移

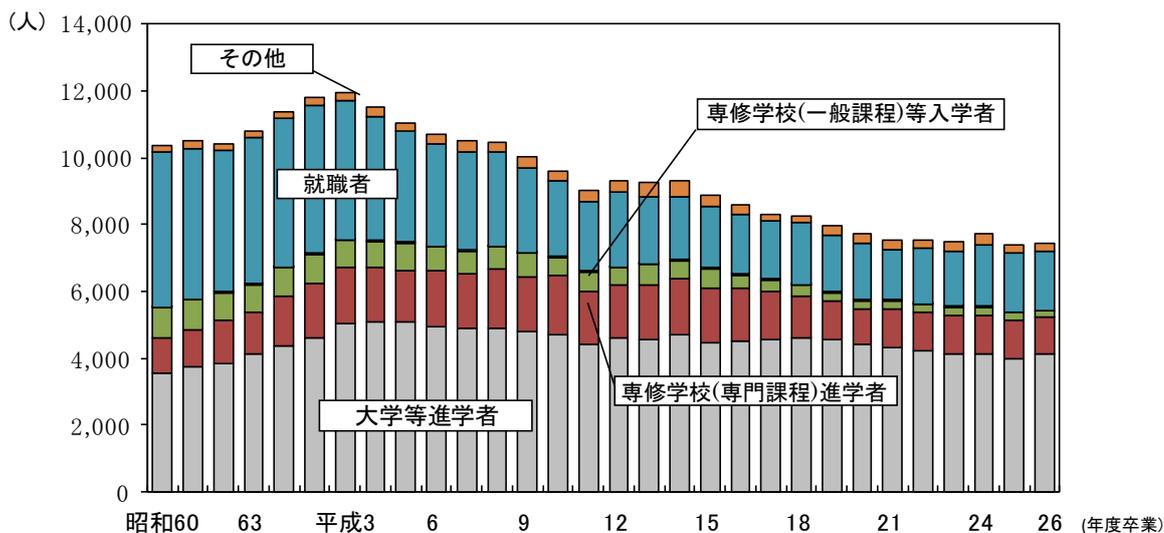


図 23 高等学校卒業生の大学等進学率および就職率の推移

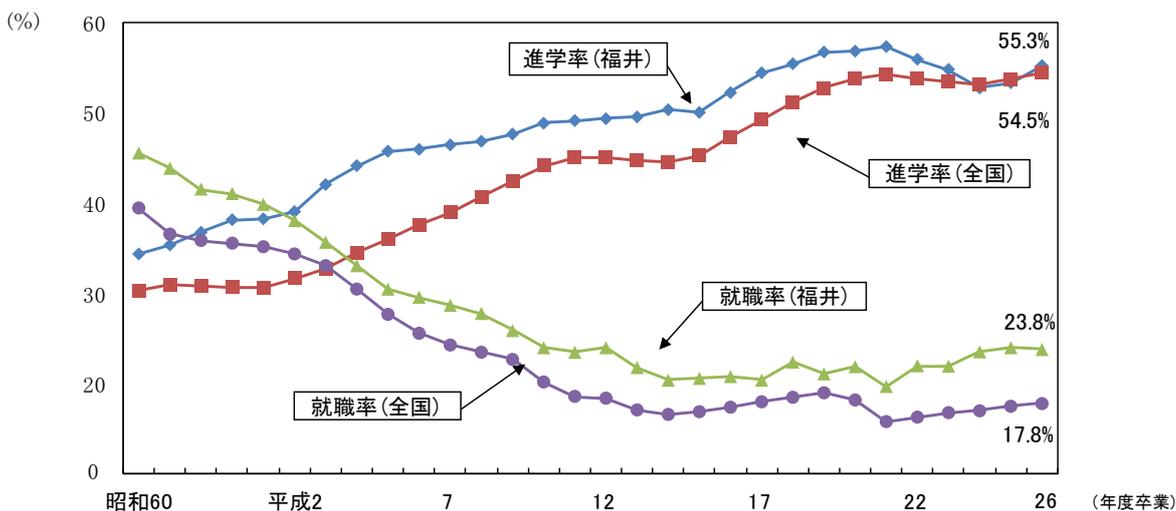


図 24 高等学校卒業生の男女別大学等進学率の推移

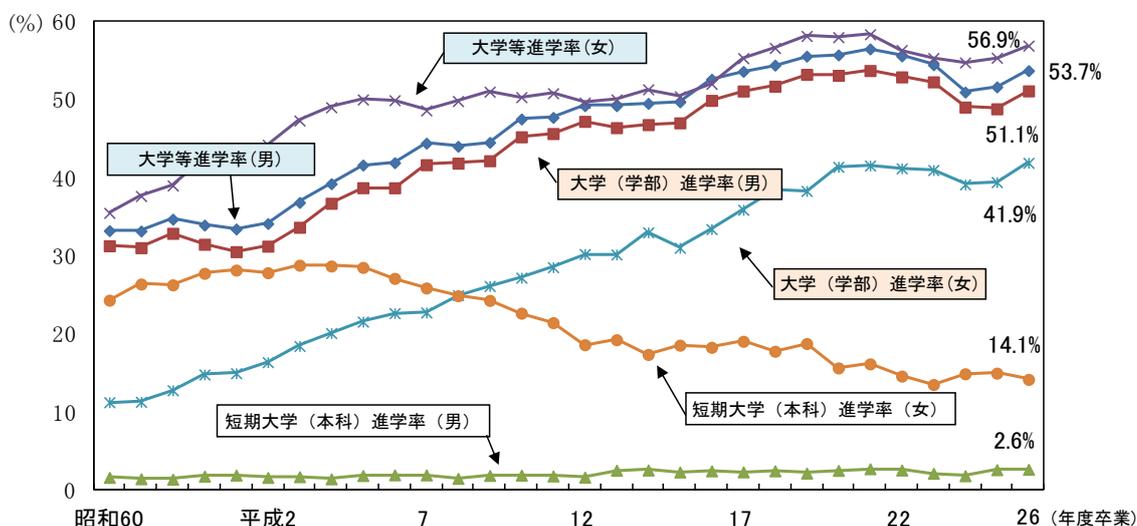


表 22 高等学校卒業生(全日制・定時制)の産業別、県内外別、男女別就職者数

表22 平成26年度高等学校卒業生(全日制・定時制)の産業別、県内外別、男女別就職者数

		就 職 者 数 (人、%)				
		県内		県外		男
第一次	農業、林業	6 (0.3)	6 (0.3)	0 (0.0)	3 (0.2)	3 (0.2)
	漁業	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 (0.0)
	小計	7 (0.4)	6 (0.3)	1 (0.1)	4 (0.2)	3 (0.2)
第二次	鉱業、採石業、 砂利採取業	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 (0.0)
	建設業	180 (10.1)	153 (8.6)	27 (1.5)	165 (9.2)	15 (0.8)
	製造業	796 (44.5)	754 (42.2)	42 (2.4)	500 (28.0)	296 (16.6)
	小計	977 (54.7)	907 (50.8)	70 (3.9)	666 (37.3)	311 (17.4)
第三次	電気・ガス・ 熱供給・水道業	36 (2.0)	19 (1.1)	17 (1.0)	33 (1.8)	3 (0.2)
	情報通信業	17 (1.0)	16 (0.9)	1 (0.1)	12 (0.7)	5 (0.3)
	運輸業、郵便業	50 (2.8)	35 (2.0)	15 (0.8)	44 (2.5)	6 (0.3)
	卸売業、小売業	193 (10.8)	181 (10.1)	12 (0.7)	68 (3.8)	125 (7.0)
	金融業、保険業	17 (1.0)	17 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	16 (0.9)
	不動産業、 物品賃貸業	4 (0.2)	3 (0.2)	1 (0.1)	0 (0.0)	4 (0.2)
	学術研究、 専門・技術サービス業	15 (0.8)	9 (0.5)	6 (0.3)	6 (0.3)	9 (0.5)
	宿泊業、 飲食サービス業	82 (4.6)	66 (3.7)	16 (0.9)	33 (1.8)	49 (2.7)
	生活関連サービス業、 娯楽業	68 (3.8)	56 (3.1)	12 (0.7)	23 (1.3)	45 (2.5)
	教育、学習支援業	2 (0.1)	2 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.1)
	医療、福祉	119 (6.7)	113 (6.3)	6 (0.3)	23 (1.3)	96 (5.4)
	複合サービス事業	44 (2.5)	42 (2.4)	2 (0.1)	20 (1.1)	24 (1.3)
	サービス業(他に分類され ないもの)	63 (3.5)	59 (3.3)	4 (0.2)	51 (2.9)	12 (0.7)
	公務(他に分類され るものを除く)	90 (5.0)	43 (2.4)	47 (2.6)	80 (4.5)	10 (0.6)
		小計	800 (44.8)	661 (37.0)	139 (7.8)	394 (22.0)
	上記以外の者	3 (0.2)	2 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.1)	1 (0.1)
	総合計	1,787 (100.0)	1,576 (88.2)	211 (11.8)	1,066 (59.7)	721 (40.3)

表 23 男女別、地域別県外就職者数

	県外 就職者 計	北海道	東北	南関東	北関東 ・甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	その他
平成23年度	189	-	-	32	5	30	16	93	3	1	-	-	9
男	143	-	-	26	4	25	7	69	2	1	-	-	9
女	46	-	-	6	1	5	9	24	1	-	-	-	-
平成24年度	204	-	-	35	5	25	22	107	2	3	1	-	4
男	148	-	-	22	5	20	11	81	2	3	1	-	3
女	56	-	-	13	-	5	11	26	-	-	-	-	1
平成25年度	205	-	-	27	4	35	13	108	9	-	1	-	8
男	155	-	-	23	3	26	13	77	6	-	-	-	7
女	50	-	-	4	1	9	-	31	3	-	1	-	1
平成26年度	201	-	-	33	9	40	18	93	2	-	-	-	6
男	146	-	-	24	7	26	11	70	2	-	-	-	6
女	55	-	-	9	2	14	7	23	-	-	-	-	-
平成27年度	211	-	-	30	5	30	31	93	5	1	3	-	13
男	153	-	-	22	4	23	23	65	2	-	2	-	12
女	58	-	-	8	1	7	8	28	3	1	1	-	1

地域区分	北海道(北海道)、東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県) 南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県) 北関東・甲信(茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県) 北陸(新潟県、富山県、石川県)、東海(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県) 近畿(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) 中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県) 四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県) 九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県) 沖縄(沖縄県)、その他(国外および不詳)
------	---

図 25 高等学校卒業者の就職者の就職地域別割合

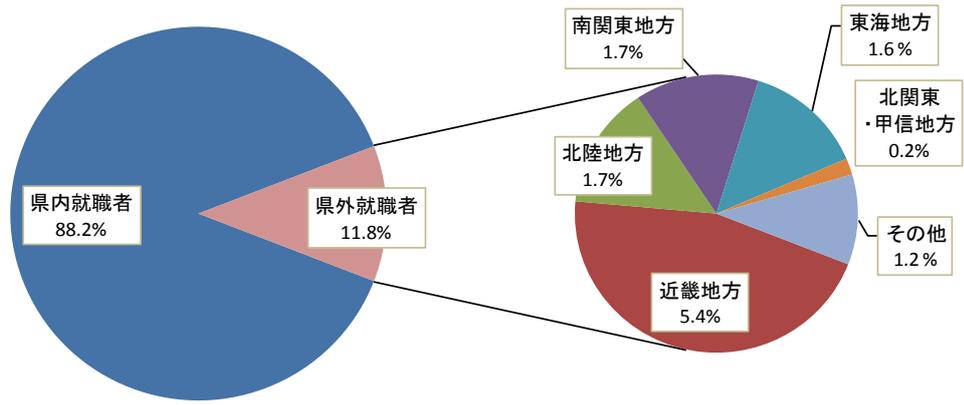


図 26 高等学校卒業者の男女別産業別就職者数

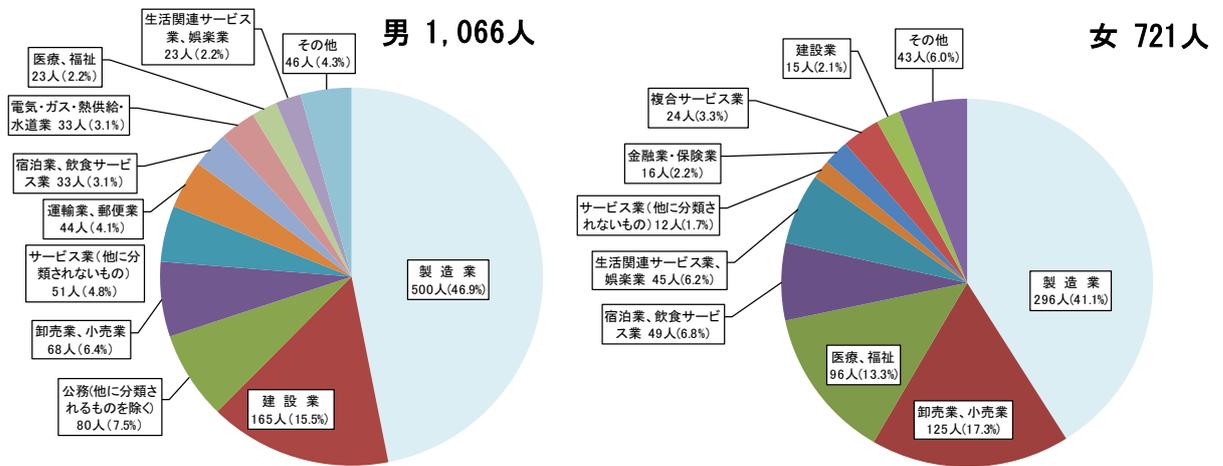


図 27 高等学校卒業者の男女別職業別就職者数

